

医療安全教育セミナー 2009 夏季

(日本語社会人教育プログラム)

医療安全システムの標準 -

事前配布資料

期 間: 2009年8月5日(水)~7日(金)

会 場:

東京大学医学部鉄門記念講堂(東京大学医学部教育研究棟14階)
〒177-0033 東京都文京区本郷 7-3-1



主 催: 国際予防医学リスクマネジメント連盟

(〒) 113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(〒) 113-0033 東京都文京区本郷 4-36-2-103

(電子メール) jsrmpm-office@umin.net

(Tel/Fax) 03-3817-6770

参加者への注意

- 1) テキストおよび領収書を当日朝の受付でお渡しします。
- 2) 受講修了書は各日の最後にお渡しします。
3日間参加者は8月7日の最終講義後にお渡しします。
- 3) 講師控え室： 東京大学医学部教育研究棟 14 階 講堂ロビー

受講対象者： 学会員、医療施設経営者、医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、法関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、学生、市民、その他

厚生労働省の平成 18 年度診療報酬改定に係る通知等

(以下は、平成 18 年度診療報酬改定に係る通知等に係る疑義解釈資料 2 から「医療安全対策加算」の項の抜粋)

【医療安全対策加算】

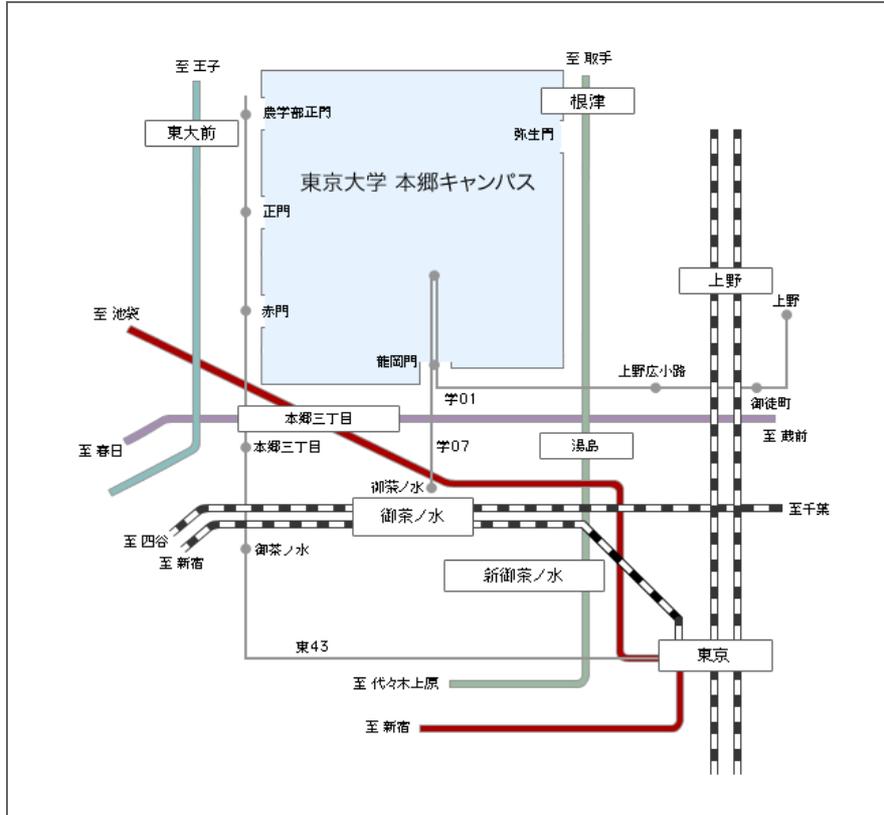
(問15) 医療安全管理者とは看護師又は薬剤師でなければならないのか。事務職員でもよいのか。

(答) 適切な研修を受けた医師、看護師、薬剤師等の医療有資格者であり、事務職員は含まれない。

(問16) 適切な研修とはどのような研修か。

(答) 国及び医療関係団体等が主催する研修であって、医療安全管理者として業務を実施する上で必要な内容を含む通算して40時間以上又は5日程度の研修。講義又は具体例に基づく演習等により、医療安全に関する制度、医療安全のための組織的な取組、事例分析・評価・対策、医療事故発生時の対応、コミュニケーション能力の向上、職員の教育研修、意識の向上等について研修すること。

交通案内



最寄り駅		所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)		徒歩 8 分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)		徒歩 8 分
東大前駅(地下鉄南北線)		徒歩 1 分
お茶の水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅、王子駅又は東 43 荒川土手行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
上野駅及び御徒町駅 (JR 山の手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅行 湯島四丁目下車(御徒町駅のみ)
	学バス利用	学 01 東大構内行 (龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

東京大学医学部教育研究棟 14 階、鉄門記念講堂

電話：03-3812-2111



プログラム

(第1日目) 2009年8月5日(水) 午前10時～午後5時

東京大学医学部鉄門記念講堂

『医療安全の制度と組織』

受付開始 午前9時

総合司会: 近藤 美希 (東京大学大学院学際情報学府)

午前10時 開会

(8月5日午前の部) 医療安全の院内組織と医療事故調査のあり方

午前10時～午前10時50分 (質疑5分を含む) 特別講義

(座長) 森 功 医真会 八尾総合病院 理事長

第5回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会(2006年度)会長

「医療事故に関するリスク管理と危機管理のための院内組織の構築のすすめ方 - 飯塚病院の事例を通じて」

田中 二郎 麻生グループ・飯塚病院(福岡県) 院長

午前10時～午前10時50分 小休憩

午前11時～午前12時 (質疑5分を含む) 特別講義

(座長) 森 功 医真会 八尾総合病院 理事長

第5回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会(2006年度)会長

「法からみた医療事故における院内での内部報告書の作り方」

阿部 隆徳 大阪大学大学院医学研究科特任教授、弁護士、米国ニューヨーク州弁護士

午後12時～午後1時 昼食

(8月5日午後の部) 医療安全活動の標準化

午後1時～午後1時50分 (質疑5分を含む) 特別講義

「医療現場で監視すべき病原体と院内感染対策のための法令およびマニュアル」
--- 耐性菌や新型インフルエンザ(鳥と豚由来のウィルス)に関する対策の基本的考え
荒川 宜親 国立感染症研究所細菌第2部部長

午後1時50分～午後2時 小休憩

午後2時～午後5時 シンポジウム **「医療の安全基準 実効的なマニュアルの作成とその運用」**

(座長) **矢野 真** 武蔵野赤十字病院 院長特別補佐 (医療安全担当)
清水 利夫 国立国際医療センター副院長(医療安全担当)
江原 一雅 神戸大学付属病院 (医療安全担当)

(概要) 全国の医療機関では医療安全に関する様々なマニュアルが独自に作成されています。実用的な安全マニュアルの作成は難しく、また、マニュアルの円滑な運用、つまり、職員のコンプライアンスをどう上げるかも重要課題です。本シンポジウムは、全国の医療機関が抱えるこれらの問題をどのように解決したかについて、先進的な取り組みを行った様々な規模の医療機関の事例を紹介いただき、参加者全員で情報と体験を共有します。

午後2時～午後2時30分
午後2時30分～午後3時
午後3時～午後3時30分
午後3時30分～午後4時
午後4時～午後4時30分
午後4時30分～午後5時

京大病院の事例
神戸大病院の事例
国立国際医療センターの事例
近森会 近森病院の事例
武蔵野赤十字病院の事例
総合討論

長尾 能雅 (京都大学医療安全管理室)
江原 一雅 (神戸大学医療安全管理室)
菊池 邦子 (国際医療センター医療安全管理室)
青木 千利 (近森病院前医療安全管理室)
矢野 真 (武蔵野赤十字病院)

午後5時 第1日目閉会

(第2日目) 2009年8月6日(木) 午前9時～午後5時

東京大学医学部鉄門記念講堂

『医療安全の教育とコミュニケーション』

受付開始 午前8時

総司会: 近藤 美希 (東京大学大学院学際情報学府)

(8月6日午前の部) 「職員に対する医療安全教育のあり方と臨床コミュニケーション」
(座長) 木内 貴弘 (東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野教授)

午前9時～午前9時50分 (質疑5分を含む) 講義

「院内における医療安全教育の現状と課題」

布施 淳子 山形大学医学部基礎看護学教授

午前9時50分～午前10時 小休憩

午前10時～午前10時50分 (質疑5分を含む) 教育講演

「安全教育に係る教育科学の原理と方法」

衛藤 隆 東京大学大学院教育学研究科・教育学部健康教育学教授

午前10時50分～午前11時 小休憩

(報告) 臨床コミュニケーションのあり方

日本での医療訴訟の原因の7割が医療従事者と患者・遺族のミスコミュニケーションであるという報告があります。そのために、臨床現場での適切なコミュニケーションの必要性が全国的に指摘されています。この分野において東京大学時代から研鑽をつまね、日本の草割け的存在であるお二人をお招きして、米国の超一流大学の1つであるジョンスホプキンス大学医学部でのプログラムを含めて、国際的な観点からの話題を提起いただきます。これらは日本での医療安全の更なる向上に資するものです。

午前11時～午前11時45分 (質疑5分を含む) 講義

「臨床コミュニケーション (1)」

石川 ひろの 滋賀医科大学医学文化学講座行動科学准教授

午前11時45分～午前12時30分 (質疑5分を含む) 講義

「臨床コミュニケーション (2)」

高山 智子 国立がんセンター がん対策情報センター 診療実態調査室長

午前12時30分～午後1時30分 昼食

(8月6日午後の部) リスクの極めて高い医療分野における医療安全

午後1時30分～午後2時20分 (質疑5分を含む) 特別講義

「救急医療における医療安全の現状と課題」

丹正 勝久 日本大学医学部附属板橋病院 副病院長、救急医学系主任教授

第8回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会(2009年度)会長

午後2時20分～午後2時30分 小休憩

午後2時30分～午後5時 シンポジウム

「周産期医療に内在するリスクとその対策」

--- 妊娠・出産に内在する種々のリスクを患者にどのように患者に伝えるか ---

(座長) 野田洋一 日本予防医学リスクマネジメント学会西日本本部会長、滋賀医科大学名誉教授
滋賀県産婦人科学会会長、第7回日本予防医学リスクマネジメント学会学術総会(2008年度)会長

(セッションの狙い): 先に行われた第7回予防医学リスクマネジメント学会学術総会の議論の中で明らかになった事の一つに、「社会に対して周産期医療に内在する種々のリスクを積極的に伝える必要がある」ということであった。このセッションでは、3名の異なった立場からの演者によって、妊娠から出産に至る間に存在するリスクについて何をどのように伝えるべきかについて講演を頂き、意見交換を行います。

午後2時30分～午後3時20分

講演1 基調講演 「患者の自己決定権を保障する立場からの提言」

野田 洋一 滋賀医科大学名誉教授

午後3時20分～午後3時30分 小休憩

午後3時30分～午後4時

講演2 「妊娠・出産に内在するリスクの伝達をどのようにするべきか」

久保 隆彦 国立成育医療センター周産期診療部産科医長

午後4時～午後4時30分

講演3 「妊娠出産について患者が求める情報とは何か」

堀 康司 弁護士、愛知県弁護士会

午後4時30分～午後5時 総合討論

午後5時 第2日目閉会

(第3日目) 2009年8月7日(金) 午前9時30分～午後4時30分

東京大学医学部鉄門記念講堂

『医療安全の技術と法』

受付開始 午前8時30分

総合司会: 近藤 美希 (東京大学大学院学際情報学府)

(8月7日午前の部) 医療安全のための法と制度

午前9時30分～午前10時50分 (質疑5分を含む) 特別講義

(座長) 武市尚子 千葉大学医学部法医学、世界健康リスクマネジメントセンター(WHRMC)客員准教授、東大法卒

「ポストゲノム時代の医事法と医療安全 ドイツ医療界の事例を踏まえて」

加藤 久雄 (慶應義塾大学法学部元教授、弁護士)

午前10時50分～午前11時 小休憩

午前11時～午前12時 (質疑5分を含む) 特別講演

(座長) 澤 充 日大板橋付属病院 院長、全国医学部長病院長会議前副会長

「事故と医療と既往症の狭間の死因究明」

吉田 謙一 (東京大学大学院医学研究科・医学部法医学教室教授)

午前12時～午後1時 昼食

(8月7日午後の部) 医療過誤の予防と法的対応

午後1時～午後1時50分 (質疑5分を含む) 講義

(座長) 武市尚子 千葉大学医学部法医学、世界健康リスクマネジメントセンター(WHRMC)客員准教授、東大法卒

「産科医療を取り巻く医療安全策とは？」

分娩時医療過誤事例の医学的視点と争点の変遷を顧みて

平原 史樹 (横浜市立大学大学院医学研究科生殖生育病態医学(産婦人科学)教授、同付属病院前副院長)

午後 1 時 50 分 ~ 午後 2 時 小休憩

午後 2 時 ~ 午後 2 時 50 分 (質疑 5 分を含む) 講義

(座長) 武市尚子 千葉大学医学部法医学、世界健康リスクマネジメントセンター(WHRMC)客員准教授、東大法卒

「免責を得る医療の安全基準に関する法的要件 - 米国の事例を踏まえて」

平野 晋 (中央大学総合政策学部教授、ニューヨーク州弁護士)

午後 2 時 50 分 ~ 午後 3 時 小休憩

午後 3 時 ~ 午後 4 時 30 分(質疑 5 分を含む) 講義

(座長) 武市尚子 千葉大学医学部法医学、世界健康リスクマネジメントセンター(WHRMC)客員准教授、東大法卒

「医療事故の法的対応 - 賠償責任の考え方など」

井上 清成 (東京弁護士会所属、医療法務弁護士グループ代表、東大法学部卒)

午後 4 時 30 分 全体閉会

飲食について

生協中央食堂(安田講堂前広場地下、会場より徒歩5分)が開店していますが、その他の学内食堂もすべて開店しています。

大学赤門および正門の向かい側、および本郷三丁目交差点付近(会場より徒歩10分)民間の飲食店・コンビニがあります。日曜日ですが本郷3丁目交差点付近のお店は開いています。

鉄門講堂のある建物1階には飲料品の自動販売機があります。

講堂内での飲食の際にはフロアーじゅうたんを汚さないよう、お気付けてください。また、ごみは各自でお持ち帰りください。

